

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	手賀沼流域関連公共下水道整備事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	下水道建設課			
施策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進		主管課長	池田 輝昭			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	手賀沼流域関連公共下水道の利用者	意図	公共下水道の整備を図る。
事業内容	手賀沼流域関連公共下水道(汚水)の整備を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成4年事業認可を取得し、事業着手により平成5年4月から供用開始となった。その後、平成14年に事業認可区域を大幅に拡大し、平成28年度末で約136ヘクタールの整備推進を図っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 各年度の整備面積	6.25	10.55	7.39	ha	→→	
	② 各年度整備延長	2297.90	280	1,959	m	→→	
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ◆整備事業のための国庫補助事業費は要望どおりの内示を受けた。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		253,799,080	95,877,168	212,353,360	◆平成26・27・28年度は駒木地区（流山第3処理分区・駒木第4処理分区）の整備を実施した。		
事業費(b)(円)		241,361,080	80,817,168	205,488,360	・平成26年度は、打ち切り決算による未払い金43,597,200円を特例的支出により下水道企業会計から支出した。		
うち一般財源		△43,597,200	32,367,168	94,488,360			
職員給与費(c)(円)		12,438,000	15,060,000	6,865,000			
人役・職員(人)		1.80	2.00	1.00			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき		効率性	対象者の適切性
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	手賀沼流域下水道区域内の公共下水道整備を推進した。	③取組の課題	平成27年度から下水道企業会計に移行しており、計画から施工まで、効果的に投資を行い、経営を支える良質な下水道資源とする。
②今年度(H28)に実施した取組	駒木台、駒木地先約7.39ha（TX関連含まず）を整備したことで、本事業における平成28年度末の公共下水道整備面積が約136haとなった。	④今後の改善計画	安易に前例に縛られず、新しい施工計画や工法等について積極的に採用を検討する。また、将来増大する維持管理に係る負担を少なくするため、不良施工の未然予防に努める。